

二〇二五年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(実践真宗学研究科)

(科目名・専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月23日(日)

問一 次の語句を説明しなさい。(罫線縦書の解答用紙に記入のこと)

- (1) 出世本懐
- (2) 造悪無礙

問二 次の漢文を書き下し文にし、簡潔に意識しなさい。また、和讀を意識しなさい。(罫線縦書の解答用紙に記入のこと)

- (1) 彼国菩薩、皆当究竟一生補处。除其本願、為衆生故、以弘誓功德而自莊嚴、普欲度脱一切衆生。
- (2) 極重惡人唯称仏、我亦在彼摄取中、煩惱障眼雖不見、大悲無倦常照我。
- (3) 聖道門のひとはみな

自力の心をむねとして  
他力不思議にいりぬれば  
義なきを義とすと信知せり

問三 次の文は、著者が死刑制度についての考えを記した文章の抜粋です。まず著者が伝えたい内容を簡潔に示した上で、その内容を踏まえてあなた自身が、どのような姿勢で社会的な実践に取り組もうと考えるか、具体的に述べなさい。(六百字〜八百字程度 マス目縦書の解答用紙に記入のこと)

【引用部分は削除しています】

(大谷光真著『死刑制度を問う―仏教・浄土真宗の視点から―』春秋社、二〇二四年)